

変わる市場を見極め 軸足はぶれず

新たな戦略 始動する

京滋の経営者8氏



N K E

中村 道一 社長



NKE 伏見工場 (京都市伏見区)での搬送システム製品組み立て作業

「昨年ばかり厳しい提案するほど経営力のアップに努める。提供して「確かに2009年は予想以上に厳しい年だった。10年の見通しについて、トレンドとしては上昇を期待したい。ただ以前の水準までの回復は難しいと見ている。明るく半面から太陽光発電に関連する搬送システムなど、環境関連で動きが開始を。10年に向けて環境分野を成長市場と位置付け、積極的に攻めていきたい。」

「当社が顧客に製品を促進を進めますか。」

「環境関連で動きが開始を。10年に向けて環境分野を成長市場と位置付け、積極的に攻めていきたい。」

「環境関連で動きが開始を。10年に向けて環境分野を成長市場と位置付け、積極的に攻めていきたい。」

「環境関連で動きが開始を。10年に向けて環境分野を成長市場と位置付け、積極的に攻めていきたい。」

「環境関連で動きが開始を。10年に向けて環境分野を成長市場と位置付け、積極的に攻めていきたい。」

環境関連市場 攻略へ

搬送システムなど 顧客提案力を強化

「環境は厳しい水準にあり、この状況が当分続くかもしれない。特に日本の場合、モノづくりが生産拠点を海外に生産拠点を移した方が良いとの風潮が強まっている。その中で日本の景気回復に必要なのは、何か一つ強い製品や分野を持つこと。国を挙げて特定産業を強化し、世界標準に育感する方針を打ち出すことが有効と考えている。」



「環境は厳しい水準にあり、この状況が当分続くかもしれない。特に日本の場合、モノづくりが生産拠点を海外に生産拠点を移した方が良いとの風潮が強まっている。その中で日本の景気回復に必要なのは、何か一つ強い製品や分野を持つこと。国を挙げて特定産業を強化し、世界標準に育感する方針を打ち出すことが有効と考えている。」